

ご挨拶



12月5日吉武英憲前院長の逝去に伴い、愛和病院の院長に小山祐之介前副院長が就任、副院長には松尾直裕が就任しました。以下小山院長よりご挨拶です。

このたび 故吉武英憲の後任として院長に就任しました。故人の意思を継ぎ病院の、そして地域医療の発展に専心努力いたす所存でございます。何とぞ前任者同様、格別のご指導ご鞭撻を賜りますよう切にお願い申し上げます。

小山院長、松尾副院長以下スタッフ一同これからも妊産婦さん、赤ちゃん、患者様の笑顔のため頑張ります。どうぞよろしく願いいたします。



アフガニスタンからお客様

去る11月15日愛和病院にアフガニスタンよりお客様をお迎えしました。アフガニスタンの産婦人科で勤務されている医師、助産師の方ご一行でした。

JICA（独立行政法人国際協力機構）が行う「アフガニスタン母子保健実施管理コース」の研修プログラムの一環として日本の周産期医療について学ぶために来日、愛和病院へは半日の研修でした。

愛和病院での妊婦健診から産後のケア、妊娠中や産後のマザークラスなどについてお話をしました。

皆さんとても熱心に研修されており、日本でのケアについて聞く中で「手厚いケアで自国でも早くこのようにケアできるようになればいいのに・・・」と。



現在、日本に習い母子手帳を妊婦さんに交付できるように活動中だとのこと。

アフガニスタンでは妊産婦の数に対し病院が少なく、1つの病院で生まれる赤ちゃんは1日で100人！次々入院する産婦さんに追われ、助産師さんは勤務に入ると分娩室から1歩も外に出られず、産婦さんも産後4～6時間経てば退院だとか。目も回るような忙しさの中日々勤務に取り組みまわらなければならないとのこと。

病院内の見学の際アフガニスタンの助産師さんから「このように恵まれた環境でお仕事ができるなんて幸せですよ」との一言。

今も世界のどこかでは争いがあり、危険と背中合わせの中



妊産婦さんのために尽くしている仲間がいる。日本という恵まれた環境にいる私達はもっと頑張らなければ！と思う1日でした。



今日もどこかで・・・

新しい命が幸せでありますように。

文責：吉村裕美



おまつり愛和



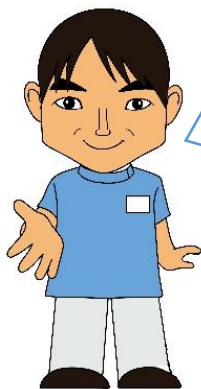
今年度も「まつり新宮」に参加しました。まつり会場のテントでは毎年恒例のわたがしとお菓子すくいゲーム、愛和病院で人気のおやつを紹介、「あいわ母と子ライフサポート館」では写真撮影会を行いました。 ささやかながらバルーンアートや協賛品のプレゼントも。

愛和病院で出産された皆さんとお祭り会場でお会いして、大きくなった赤ちゃん達の笑顔、人見知りした泣き顔を見られてスタッフ一同大変楽しい一日でした。



新しい先生の紹介

去年秋 愛和病院に新しく永塩先生をお迎えしました。
産婦人科のフレッシュな先生です。自己紹介をどうぞ。



9月に入職しました永塩です。

愛和病院のスタッフの皆さんと力を合わせて安全にお産が行え満足していただけるよう頑張ります。

ここ数年はマラソンにはまっていましたが、これからは体を壊さない程度にゆるーく走りたいと思います。

マイブームは通勤電車の中で小説を読むことです。
これまであまり読書をしてこなかった分、新しい楽しみを発見できました。

これからもどうぞよろしく願います。